

沖縄県国頭郡伊江村

西江上方言のアスペクト

生塩睦子

I. はじめに

1. 調査対象地：伊江島は沖縄本島北部の本部(もとぶ)半島から北西約9 km離れたところにある。島は東西約8.4 km, 南北3 km. 島の東部の中央には城山(172m)があり, その山麓から南海岸にかけて集落がひらけている。一島で一村(伊江村)をなしており, 8か字からなる。

生業は主として農業(さとうきび・葉たばこ・落花生など)。

本部半島渡久地港から伊江島までカーフェリーが就航(一日4~5往復, 所要時間30分)。村内には, 集落を一周するバスが運行。

人口 5,565人, 世帯数 1,955。(1994年 4月30日現在)。

2. 調査年月日：1993年 7月23日・24日・25日

3. 話者：山城文男さん 1911年(明治44年)8月生・82歳

沖縄県国頭郡伊江村西江上在住

4. 調査場所：伊江村教育委員会老人会室

5. 調査方法：面接質問

6. 表記の方法：方言表記はカタカナを用いるが, 語頭の無気音音節だけはひらかなを使う。ひらかな表記の音声・まぎらわしいカタカナ表記とその音声は次の通り。

キ〔ji〕, ウウ〔wu〕, ち〔ʃi〕, ちゃ〔ʃa〕, エ〔je〕, こ〔ko〕

アクセントは「 ˊ」で示す。

II. 調査結果

1. (昔は)よく行ったものだね イチャン「ヤˊー〔行ったねえ〕
イチャˊルムヌー「ヤˊー〔行ったもんだねえ〕
イチュˊタン「ヤˊー〔行ってたねえ〕
2. (あのころは)おもしろかったなあ キ「ー「シャ アタン「ヤˊー
3. (もうちょっとで)落ちるところだった ウティユˊタン
ウティラーˊディ 「シュˊータン
4. (今にも)落ちそうだよ ウティガ「タˊ ヤン
5. (財布を)落として ウトゥˊチ
6. 困っている ①クマˊティウウン(老年層の言い方)
②クマˊトゥン(①の簡略形で, 中若年層の言い方)
7. (一本の蠟燭が今にも)消えそうだよ ち「ーガタ ナ「ティ「ウウン

8. (今) 消えようとする ち^ラー^ラー^ディ シュン
9. (完全に) 消えた マル^チー シャン〔まる消えした〕／ち^ラー^タン〔消えた〕
10. (すでに) 消えていたよ ち^ラー^ティウ^ウタン
11. (何本もの蠟燭が順に) 消え始めた ち^ラー^パジ^ミタン
12. (何本もの蠟燭が次々) 消えていくなあ ち^ラー^ティ^イチュ^ン 「エ^ラー
13. (何本もの蠟燭が順に) 消えていってるよ
 ち^ラー^ティ^イチュ^ン (眼前でじっと自分が見ていたとき)
 ち^ラー^ティ^アイ^{チュ}ン (誰かに聞かれて答えるとき)
14. (何本もの蠟燭が全部) 消えていってるよ ち^ラー^ティ^イチュ^ン タン
 〔消えていっていた〕
15. (何本もの蠟燭の火を次々) 消しているよ ちゃ^ラー^チアイ^{チュ}ン
16. (もう全部) 消しているか ちゃ^ラー^チー 〔消したか〕
 ちゃ^ラー^チア^ラ「^ティ」ー 〔消してあるか〕
17. (今にも桜が) 散りそうだ……「花が散る」とは言わないで、「花が落ちる」と言う。
 ウ^ティガ「^タ」 ヤン〔落ちそうだ〕
18. (ちらほらと) 散り始めた ウ^ティ「^パ」ジ^ミタン
19. (今現に) 散っている ウ^ティ^ラ「^ティ^アイ^{チュ}ン
20. (桜の木がすっかり) 散っている ウ^ティ^ラ「^ティ^ウウ^ン」 「エ^ラー
21. (地面一面に) 散っている ウ^ティ^ラ「^ティ^ウウ^ン」 「エ^ラー
22. 今にも降りそうだ プイガ「^タ」 ヤン / プラ^ラー「^ラ」^ディ シュン
23. (あの時は今にも雨が) 降りそうだったなあ プイガ^ラ「^タ」 ヤタン
24. (あの時はもう実際に雨が) 降っていたよ プユ^ラー「^ラ」タン
 プユ^ラー「^ラ」タム^ンナ (思い出したような感じの言い方)
25. (あの時はやがて夜が) 明けようとしていたよ アキ^ラー^ラー^ディ シュ^ラー^タン
26. (来年の今ごろは家を) 建てている (最中) ……ヤ^ラー タ^ティユ^ン〔家を建てる〕
 は、二・三男または嫁にいった者が新しく家を持つ意に使う。家を自分自身で建造する意には「シュガユ^ン〔造る〕」を使う。
 シュガユ^ラル パン「^ラ」ジ〔造っている最中〕
 シュガ^ラ「^ティ^アイ^{チュ}ル」 パズィ ヤトウ〔造っているはずだから〕
27. (来年の今ごろは家をすでに) 建てている シュガ^ラ「^ティ^アン
28. (あの家はよく) 磨いてある ンジャ^ラ「^ティ^アン
29. (隣の犬が) 鳴いている ナ^チユ^ン / ナ「^チ」^アイ^{チュ}ン
 (ちょうど今泣いている状態)
30. (隣の子が) 泣いている ナ^チユ^ン / ナ「^チ」^アイ^{チュ}ン
31. (こどもたちが) 喧嘩している オー^ラ「^ティ^アイ^{チュ}ン

32. (家に) いるかなあ ウウカ「ヤ」ー
33. (〇〇さん) いるか ウウ「カ」ヤー
34. (ああ) いるよ ウウ「ン」ド「ー
35. (そういう人も) いるよ ウウン「ド / ウウツ「ツァ
36. (あなたは今何を) していたか シュ「ー」ター
37. (私は今金魚を) 見ていたよ ニュ「ー」タン〔見つつあった〕
(君が電話をしてきたとき, ちょうど) ン「チアイチュ」タン〔見ていた〕
38. (金魚が今にも) 死にそうだ シ「ニ」ガタ
39. (やっぱり金魚は) 死んでいたよ シジ「ウ」ウタン
40. 読み始めていた ユニ「パ」ジミティウウタン
41. 読み始めたところへ(～た) ユニ「パ」ジミトゥ カジ「リ
ユニ「パ」ジミラーディ シ「ー」ナイ
ユマ「ー」ディ シ「ー」ナイ(読もうとしたとき)
42. 着くと同時に(～した) スィチ「ー」トゥ カジ「リ
43. 着くと同時に(～してくれ) スィ「チ」ートゥ カジ「リ
44. 鳴りつづけている チャーナ「イ シ「ー」ウウン
45. (先生は今何を) しているか シ「ー」アイチン「シェー
46. 好きだ スィチ「ー」 ヤン
シュ「ー」マリン〔好感を持っている〕(遠慮したような奥ゆかしい感じ)
47. 見られているのも ニャ「ッ」ティウウン「ディチ
48. (今, 運動会が) ある……「ア」ン(ある)」は使わない
(運動会を) シ「ー」アイチュ「ン〔している〕
(運動会の) バン「ジ」ド「ー〔最中だよ〕
49. (降らなくて) よかったよ……この「よかった」に対応する言い方は以下の通り。
キ「ー」 バー「 ヤタン〔いいことだった〕
キ「ー」 ヒョー「シ」 ヤタン〔いい折りだった〕
50. (先生がこっちへ) 来つつある フーラリ「ン〔来られる・来られている〕
51. (犬がこっちへ) 来つつある チュ「ン〔来る・来ている〕
ンカ「ティチュ」ツァ「ー〔向かってくるよ〕
52. 似ている ニャ「ー」ティウウン
53. (一週間も前から遊びに) 来ている チ「ー」ウウン
54. (昔から) 苦勞していない アワ「リ」クツィサ シ「ー」ウウラン
55. (今はあまり) 苦勞しないでいる アワ「リ」クツィサ シ「ー」ウウラン
56. ～は売っているが, ～は売っていない
～ヤ ウユ「スイ」ガ〔売るが〕, ～ヤ ウラ「ン〔売らない〕

～ヤ ウティ⁷アスィガ〔売っているが〕, ～ヤ ネン〔ない〕

57. (昔からタバコを) 売っている ウ⁷ティアイ⁷チュ⁷ン / ウユ⁷ン
58. (今, 大売出しで衣料品を) 売っている ウ⁷ティアイ⁷チュ⁷ン
「ウ⁷ティ⁷ウウン」とは言わない。
59. (もう三回) 来ている チ⁷ーウウン
チャー⁷ル ウビ⁷ー アン〔来た覚えがある〕
60. (いつも) 来ている チ⁷ーウウン / チュ⁷ン
61. (昔はいつも) 来ていた チュー⁷タン〔来ていた〕
「チ⁷ー ウウンタン」は, 「○○がここへ来なかったか」に対する肯定の答え方。
62. (前に一度) 行っている イジャ⁷ル フトゥ⁷ー アン
63. (先に) 行っておいてほしい イ⁷ジ⁷ウウリ⁷バ〔行っておりなさい〕
イ⁷ジ⁷ウトウキバ〔行っときなさい〕
イ⁷ジ⁷ウウティトゥラ⁷スィ⁷バ
〔行っといってください〕
サチ⁷ナティウウリ⁷バ〔先になっててください〕
64. 待っていないさい マ⁷チ⁷ウウリ⁷バ / マチュ⁷ーリバ〔待っててください〕
65. (外に) 待たせてあるよ マタ⁷チアン
66. 食べておいておくれ か⁷ーティウキ⁷バ
67. (昔と) 違う ハワ⁷ティウウン
68. (昔は今のと) 違っていた ハワ⁷ティウウンタン
69. (毎日梅干しを) 食べている か⁷ーティアイチュ⁷ン
70. (毎朝) している シ⁷ーアイチュ⁷ン
71. 気をつけていて(～した) フーリ⁷ティウウティ
フーリ⁷ティウウタスィガ⁷ー⁷ン〔～していたが〕
72. 行ったまま～ イジャ⁷ル マー⁷マ
73. ～しながら シェー⁷チャー⁷ニャ
74. ～の途中で～する イチュ⁷ル ニ⁷チ⁷ナハ
75. ～の途中で～した イチュ⁷ル ニ⁷チ⁷ナハ
76. ～の途中で止めて～した ユニユ⁷スィ⁷ ヤミ⁷ティ〔読んでいたのを止めて〕
77. ～したばかりだ ユディ ちゃ⁷ー⁷ケ
78. 無くなっている ネン⁷ナティウウン
79. 無くなるぞ ネン⁷ナユンド⁷ー
80. 掛けておいた帽子 ティカ⁷キティアタル ポー⁷シ
81. 並んだ本 ナラ⁷ディウウル シュ⁷ム⁷ツイ
82. 並べてある本 ナラ⁷ビティアル シュ⁷ム⁷ツイ

83. 読んでおこうか ユ「ディ」ウ「カ」
84. やってあるか シ「ーア」ミ
85. 壊している こー「チアイチュ」ン
86. 壊れている こーリ「ティウ」ウン
87. 壊されている こーサ「ティウ」ウン
88. のけてある ドウキ「ティ」アン
89. 書き終わった ハチ「ウ」ワタン / ハチ「パ」ティタン〔書き果てた〕
90. 書いてしまいなさい ハ「チウワ」ラスイベー
91. 書いてしまう ハチ「ヤ」ンダチュン〔書き損なう〕
92. 書いてみた ハ「チ」ンチャン
93. (孫は今)入院している シ「ーウ」ウン
94. (弟も今)入院しているそうだ シ「ーウ」ウルプ「ー」ジ ヤン
シ「ーウ」ウン「ディ」
95. (きっと)よくなるよ マ「シ」 ナユンド「ー」
96. (だんだん)よくなるよ マ「シ」 ナユンド「ー」
97. 歳とるとね, トウシ「ー」 トウレ「ー」〔歳をとれば〕
トウシ「ー」 トウイ シン「デ」〔歳とり次第〕
98. なおらなくなるよ ノーイグ「ル」シャナユンド「ー」〔治りにくくなるよ〕
- 99 (1) (犬が)怪我したので ドウー ヤマ「チアトウ」 / ドウー ヤマ「チャトウ」
(2) (こどもが)怪我したので ドウー ヤマ「チアトウ」/ドウー ヤマ「チャトウ」
(3) (お父さんが)怪我したので ドウー ヤマ「チアトウ」/ドウー ヤマ「チャトウ」
(4) (雨が)降ってきたので プ「ティ」チャー「トウ」
100. 「～しつつある」の意味
- (1) 「雨がふりつつある」
C. 「すでに盛んに降り続けている、降っている最中である」状態
- (2) 「貯金が増えつつある」
B. 「すでに現にどんどん増えている」状態
- (3) 「貯金を増やしつつある」
B. 「増やそうとして少し貯金をしはじめた」状態

III. まとめ

(1) 当該方言アスペクトの特色

「読む」のアスペクトを、『現代日本語のアスペクトとテンス』（国立国語研究所・高橋太郎）の枠組みに従って示す。

共通語「よむ」のAspect

テンス Aspect	非過去形	過去形
完成相	よむ	よんだ
継続相	よんでいる	よんでいた

伊江島方言「よむ」のAspect

テンス Aspect	非過去形		過去形
完成相	ユニョン	————	ユダン
継続相 1		ユディアイチュン	ユニュータン ユディアイチュタン
継続相 2	ユディウウン		ユディウウタン

○伊江島方言「ユニョン」は、共通語の完成相「よむ」（いわゆる終止形）に対応する形式であるが、継続相「よんでいる」の意もあわせもつ。

○共通語の継続相「～している」は、伊江島方言では継続相1と継続相2とに分けられる。継続相1は、その時点である動作が継続して行われている意を表す。「～アイチュン」形が用いられると、その「継続して行われている」意が強まる。

例. 継続相1 非過去形

「ユニョン」系

- 29. ナチュン（鳴いている）
- 30. ナチュン（泣いている）
- 50. フーラリン（来られている）
- 51. チュン（来ている）

「ユディアイチュン」系

- 13. ち^ㇿーティアイチュン（消えていっている）
- 15. ちゃ^ㇿーチアイチュン（消している）
- 26. シュガティアイチュル（造っている^{tt}）
- 30. ナ^ㇿチアイチュン（泣いている）
- 31. オー^ㇿティアイチュン（喧嘩している）
- 69. か^ㇿーティアイチュン（食べている）

70. シ⁷ーアイチュン (している)

85. こ⁷ーチアイチュン (壊している)

継続相1 過去形

「ユニュータン」系

「ユディアイチュタン」系

1. イチュ⁷タン (行っていた) 37. ンチアイチュタン (見ていた)
24. プユ⁷ー⁷タン (降っていた)
37. ニユ⁷ー⁷タン (見ていた)
61. チュー⁷タン (来ていた)
36. シュ⁷ーター (していたか)
- * 3. ウティユ⁷タン (落ちるところだった)
- * 3. ウティラー⁷ディ シュ⁷ータン (落ちようとしていた)
- * 25. アキ⁷ラーディ シュ⁷ータン (明けようとしていた)

*の用例は、まさにその事態になろうとしていた、という未発の状況が過去の
ある時点で継続していた意を表す。

継続相2は、動作・変化の結果の状態、または、単なる状態を表す形式である。

「動作・変化の結果の状態」を表す場合

継続相2 非過去形

6. クマ⁷ティウウン・クマ⁷トゥン (困っている)
21. ウティ⁷ティウウン (〔花びらが〕落ちている)
53. チ⁷ーウウン (〔一週間も前から遊びに〕来ている)
63. イ⁷ジ⁷ウリバ (〔先に〕行っていなさい)
64. マ⁷チ⁷ウウリ⁷バ・マチュ⁷ーリバ (待っていなさい)
78. ネン⁷ナティウウン (無くなっている)
81. ナラ⁷ディウウル シュム⁷ツイ (並んでいる書物)
86. こーリ⁷ティウウン (壊れている)
87. こーサ⁷ティウウン (壊されている)
93. シ⁷ーウウン (〔入院〕している)

継続相2 過去形

10. ち⁷ーティウウタン (消えていた)
39. シジ⁷ウウタン (死んでいた)
40. ユニ⁷パ⁷ジミティウウタン (読みはじめていた)

「単なる状態」を表す場合

継続相2 非過去形

47. ニャ⁷ッティウウン (見られている)

52. ニャ^ㇿーティウウン (似ている)
 67. ハワ^ㇿティウウン (変わっている)
 71. フーリ^ㇿティウウティ (気をつけていて)

継続相 2 過去形

68. ハワ^ㇿティウウタン (変わっていた)
 71. フー^ㇿリティウウタスイガ^ㇿー^ㇿン (気をつけていたが)

○「やがて～しそうである」意を表す形式に、「連用形+ガタ(接尾辞)」がある。

4. ウティガ^ㇿタ^ㇿ (落ちそう) — ウティガ^ㇿタ^ㇿ ヤン (落ちそうだ)
 7. ち^ㇿーガタ (消えそう) — ち^ㇿーガタ ナ^ㇿティ^ㇿウウン (消えそうだ)
 22. プイガ^ㇿタ^ㇿ (降りそう) — プイガ^ㇿタ^ㇿ ヤン (降りそうだ)
 23. プイガ^ㇿタ^ㇿ (降りそう) — プイガ^ㇿタ ヤタ^ㇿン (降りそうだった)
 38. シ^ㇿニ^ㇿガタ (死にそう)

(2) 特記事項

共通語の影響を受けていない純粋方言話者には、上記過去形のほかに確言過去形がある。「単純過去形」(上記の過去形)が単なる事実として述べる客観的無意的過去表現であるのに対し、「確言過去形」は、根拠のある確かなこととして断定強調する主観的意志的過去表現である。

単純過去形と確言過去形 — みとめ —

	単純過去形	確言過去形
完成相	ユダン	ユディアン
継続相 1	ユニュータン	ユニューティアン
継続相 2	ユディウウタン	ユディウウティアン

例. イザイ^ㇿヤ ア^ㇿタン. ア^ㇿメ, イザ^ㇿイ^ㇿヤ ンカシリ^ㇿー^ㇿラ ア^ㇿティ^ㇿドゥアル.

(鋤はあった. おや, 鋤は昔からあったんだよ.)

フ^ㇿリ^ㇿユカ サチ^ㇿヤ ム^ㇿル シマ^ㇿわ^ㇿードゥ ヤ^ㇿティ^ㇿアル.

(これより先は 全部島豚だったよ.)

単純過去形と確言過去形 — うちけし —

テンス アспект	単 純 過 去 形	確 言 過 去 形
完 成 相	ユマンナタン	ユマンナティアン
継 続 相	ユディウランナタン	ユディウランナティアン

例. ネ「ン」ナティアイ「ドゥ」 シュール. (「食べ物は粟しか」なかったんだよ.)
 ユナ「ー」トゥン ゼー「ナ」イ シュ「ー」セー 「シュ」イシー タ「ジャ
ナラ」ンナ「ティ」アル.

(夜通しゲーゲー吐くものは吐いたりして始末におえなかったよ.)

(おしおむつこ 広島経済大学)